地下タンク貯蔵所構造設備明細書

事	業	σ,)	概	要																					
タ	ンク	の	設	置方	法					タ	ン	ク	室	•		直	埋	訍	L Ç	•	漏れ	防	止			
タ	ン	ク	の	種	類															重 殻 重 殻			• 金	풱製	<u> </u>	意殼
	形				状									ŕ	常	圧	• 1	bo 5	E	(k	Pa)
タ	寸				法									24	容			量								
ン	材	質	`	板	厚									•												
ク	外	面	の	保	護																					
Ø				漏れは漏																						
構	防	止構	造	の内	容																					
造	通		気		管	種	İ							別			1	数		内	径	又	は	作	動	圧 mm
`																										кРа
	安	全		装	置	種							,	別				数		作			動			圧
設		11 441			ıl→																					kPa
備	設	然性	: 烝	回 戾	備			有	Î	()	•	無		
	液	量	表	示 装	置											引	火防	5止	凌置		有	•			無	ŧ
タンク室又はタンク 室以外の基礎、固定																										
主力	法法			概	要																					
注	入	П	の	位	置												入口地				有				無	ŧ
ポ	ンフ	。設	備	の概	要																					
配					管																					
電	4	気	彭	ī.	備																					
消		火	記	T. X	備																					
Ι.	事請	負者	住	所氏	名														Ē	10 話	i					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 「直埋設」とは、地下貯蔵タンク(二重殻タンクを含む。)をタンク室以外の場所に設置する方法 (地下貯蔵タンクを危険物の漏れを防止することができる構造により地盤面下に設置する方法を除く。) をいう。